⑭【新潟県厚生農業協同組合連合会 上越総合病院】

=943-8507新潟県上越市大道福田616番地 病床数:313床 総合診療科、内科、循環器内科、神経内科、小児科、外科、呼吸器外科、脳神経外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、リハピリテーション科、放射線治療科、放射線科、救急科 診療科目 連絡先:rinsho-jimu@joetsu-hp.jp 025-524-3000(代表) 連絡先担当者名: 梅澤 真美-3 研修責任者名 籍鳥 充 (病院長) 真由美 佐藤 ・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度: 2 人、24年度: 2 人、25年度: 2 人、26年度: 2 人、27年度: 2 人、28年度: 1 人、29年度: 3 人、30年度: 2 人、令和元年度: 2 人、 2 年度 1 人 新臨床研修 医指導実績 研修受け入れ可能診療科※ 学会認定専門医数 学会認定指導医数 必修:内科(呼吸器内科、消化器内科、腎·

必修: 內科(呼吸器內科、消化器內科、管 糖尿病內科、循環器內科、神経內科)、 救急科、総合診療科、外科(一般外科· 乳腺外科)、産婦人科、小児科 選択研修: 脳神経外科、整形外科、眼科、皮 膚科、泌尿器科、麻酔科、病理診断 科、放射線診断科

学会認定専門医数 総合内科専門医12人、呼吸器専門医4人、人間ドック専門医1人、アレルギー専門医1人、消化器病専門医4人、消化器病専門医4人、胃腸科専門医1人、腎臓専門医3人、高精神等的医2人、神経内科等所医3人、循環器序医3人、心血管インションションションを専門医3人、外科専門医1人、別科等門医1人、別科等門医1人、股神経外科門繊維1人、脳卒中門医1人、足科専門医2人、財神等的医2人、財神等的医2人、財神等的医2人、財神等的医2人、財神等的医2人、財神等的医2人、財神等的医2人、財神等的医2人、財神等的医2人、財神等的医2人、財神等的医1人、財神等的医1人、財神等的医1人、財神等的医1人、財神等的医1人、財射線診断専門医1人、財射線診療専門医1人、財射線診療専門医1人、財射線診療専門医1人、財射線診療専門医1人、財射線診療専門医1人、財射線診療専門医1人、財射線診療専門医1人、財射線診療専門医1人、財射線診療専門医1人、財射線診療専門医1人、財射線診療専門医1人、財射線診療専門医1人、財射線診療専門医1人、財射線診療専門医1人、財射線治療専門医1人、財射線治療専門医1人、財射線診療 皮医3人

総合内科12人、呼吸器2人、消化器2人、消化器2人、消化器2人、消化器2人、消化器2人、消化器1人、定分割3人、胃腸科1人、アレルギー1人、循環器3人、腎臓1人、透析1人、心血管インターペンション1人、外科2人、消化器外科1人、産婦人科1人、救急科2人、麻酔科3人、眼科1人、神経病理1人

施設の概説・特徴

当院は上越地域(上越市、妙高市)と近隣の糸魚川市、十日町市の一部を医療圏とする急性期中核病院です。「人にやさしく、地域に開かれ、地域に貢献する病院」を理念にかかげ、地域密着型の病院づくりを目指しています。 平成27年9月に卒後臨床研修評価機構(JECP)の臨床研修認定病院に登録されました。病院全体で研修をバックアップする姿勢が高く評価を受けました。常により良い研修を提供できるよう日々邁進していきます。また、臨床研修のみならず、院内スタッフの人材教育にもままれることでは、 力を入れています。

研修受け入れ可能診療科の説明

内科:呼吸器、消化器、腎・糖尿病、循環器、神経、総合診療の分野に分かれています。一般的な病態を理解し、問診、理学的所見、各種検査に基づいて診断し、治療計画を立てることから退院支援まで学びます。地域のニーズを踏まえ人々の命と健康に関わる幅広い問題について他職種や地域と連携し取組みます。また良好な患者医師関係の構築およびチーム医療が実践できます。 救急科:救急外来とHCUにて救急科指導医が指導にあたります。緊急を要する病態に適切に対応し、ブライマリケアの診療を実施できるために地域の救急医療体制と患者のニーズを理解し、他科・他医療機関と協力しながら、適切な初期診療能力を習得します。 外科◆・外科系チームの一員として外科的疾患の診断や手術を経験し基本的な診療能力を習得します。 外科◆・外科系チームの一員として外科的疾患の診断や手術を経験し基本的な診断・検査・初期治療を行い、必要に応じて専門医に紹介できる。基本的な心肺蘇生法を確実に身につける。 産婦人科:産婦人科疾患・妊娠・分娩に関する基本的病態・生理を理解し適切な診断、治療を行える診療技術を習得する。 小児科:新生児期から思春期にかけて小児の発達本的能力(態度・知識・技術)を習得する。 小児科:新生児期から思春期にかけて小児の発達本的能力(態度・知識・技術)を習得する。 一般外来・総合診療科、小児科、外科で15日間(3週分)の研修が可能。日常において遭遇する common な疾病に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するため、基本的な知識と技能を身につける。 ト般外来・総合診療科、小児科、外科で15日間(3週分)の研修が可能。日常において遭遇する common な疾病に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するため、基本的な知識と技能を身につける。 と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するため、基本的な知識と技能を身につける。 と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するため、基本的な知識と技能を身につける。 ・日本のと変なを含まる、手術に対する理解と患者への対応を習得する。 臨床診断と種々の画像診断を学ぶ。一時救急における教急処置、 を形外科:臨床医として整形外科医の役割を理解し、プライマリケアに必要とされる基本的知識と診察手技、技術を身につける。 ・現料・一般眼科臨床に必要な知識を習得する。診断に必要な検査の理解と技術の習得で、イストの表質に必要な知識を習得する。

版料・一般版料協介に必要は知識を首待する。影例に必要な検査の理解と我術の習得。 技術の習得。 皮膚科:ブライマリケアに必要な皮膚の生理的病的状態の観察の方法を学び、視診・触診の重要性を体験し、全身疾患の一部としての皮膚 症状の診察の基本、ならびに皮膚科プライマリケアを修得する。 泌尿器科:尿路悪性腫瘍、尿路結石、尿路感染症などを中心に、一般泌尿器科疾患の診断、治療方法の理解、基本的手技の習得を目指す。 麻酔科:手術患者の麻酔管理を行い、末梢静脈点滴確保から各種ライン確保、挿管、呼吸、輸液、循環管理等医療の基本技術が体験できま 麻酔科:

病理診断科:臨床における生検、細胞診、病理解剖(剖検)の役割を理解する。循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、脳神経疾患などの

内性記句付す 病理の概略を理解する。 放射線診断科:日常診療、救急診療で遭遇する疾患の画像を理解し、適切な検査計画を立案できるようにする。放射線科的治療である画像 下治療(IVR)について、適切にコンサルトできるように、その基本を身につける。

○研修を受ける側の多様なニーズに配慮し、柔軟性のあるカリキュラムを提供します。 ○指導医との距離が近く、診療科間の垣根が低い細部まで行き届いた研修ができます。 ○症例提示や問題点の抽出を通じて EBM に基づく診療を指導医とともに検討し、医学的知識や判断力を形成する姿勢や方法を身につける ことができます。

研修医の当直

平均4回/月(日直も含む) ○1年次は、5月に夜10時までのプチ当直からスタートします。指導医、先輩研修医と3人(屋根瓦方式)で安心な体制で日当直が学べま

処 遇

- ●給与: 1年次固定給: 350,000円 当直手当: 19,400円/回 超過勤務手当: 厚生連給与規定により支給2年次固定給: 380,000円 当直手当: 19,400円/回 超過勤務手当: 厚生連給与規定により支給0宿舎: 借り上げ住宅あり。家賃50,000円まで補助します。(インターネット環境あり)●食事: 昼食は弁当注文可。院内レストランや売店(コンピニ)も利用可。●居室: 研修医室あり。(インターネット環境あり)●図書: 各種学会誌等あり、Up To Date,メディカルオンラインあり。

- ※「必修」で掲載されている診療科は、「選択研修」でも研修可能です。
 ◆令和4年度当院での外科(必修)担当科の1つであり、研修の際は、基本的な外科手技と全身麻酔手術時の周術期全身管理能力を修得する。